





大正  
三年  
三月  
七日

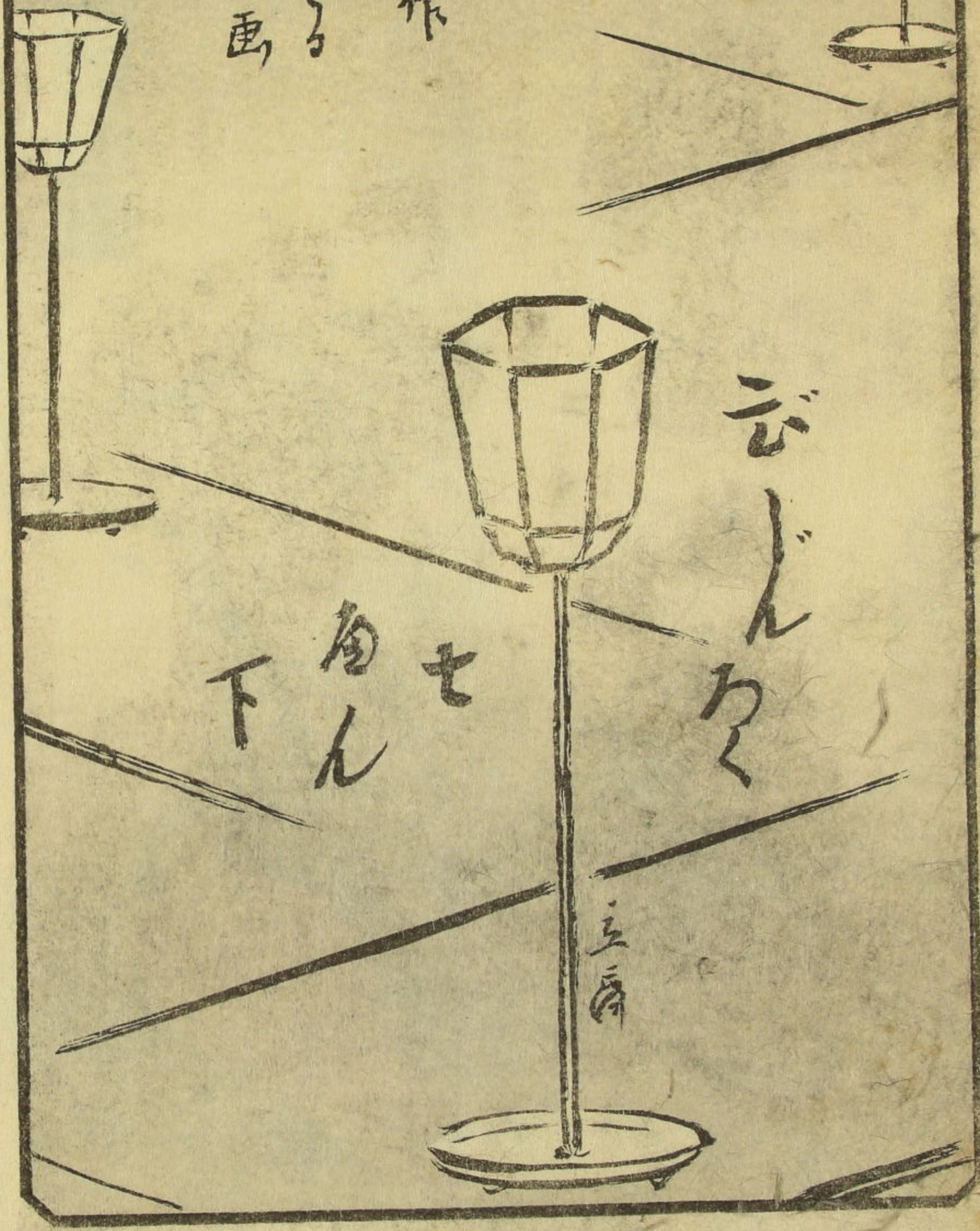
出川家の老女  
琴声美録七編下

今世川の  
尾上

今出川家の老女  
岩藤のち  
おち  
へか

門へ13  
號 3753  
巻 7

板 茶 七  
京山作  
周下  
画



七角  
下  
ぶ  
ん  
く

立

















尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上

尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上



尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上



尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上

尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上

尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上 尾上







壹

琴声美人  
七編上

京山作 國輝畫

春錦堂 刊板

去き浪の千代の上の宮やちきりん  
浦に花初ははるかにあけぬ



題 神史

貴場粉作世生姿  
德貌美心お見お  
天地從來如雜劇  
世營一齣介多私

醒老人 京傳

女さきしげかき  
をりりらるる  
ついでよ

さしぬ  
硯は体の  
清りれ

こころめかき  
水くまは

八十二景 京山



八十二景





二夜 前夜後小  
 若水のがちのうらふておんまの太  
 ならうきざれあてふらうらふあ  
 るんばまのうらふあませり  
 ありかちのうのあかこげこ  
 たん昔あままごのやがらのまり  
 ひのからけてつけまきる大いその  
 むら大人不月のもまふかくまあら  
 田のふまてふげふふらうら  
 てうちんさうこのまのあてまつる

④ふらまのうらまのうら  
 のふあまのうらまのうら  
 いまのうらまのうら  
 まのうらまのうら  
 ⑤

⑥ふらまのうらまのうら  
 のふあまのうらまのうら  
 いまのうらまのうら  
 まのうらまのうら  
 ⑦



ひらのふらまのうらまのうら  
 ふげまのうらまのうら  
 ①  
 男のうらまのうら  
 ②  
 ③  
 ④  
 ⑤  
 ⑥  
 ⑦  
 ⑧  
 ⑨  
 ⑩  
 ⑪  
 ⑫  
 ⑬  
 ⑭  
 ⑮  
 ⑯  
 ⑰  
 ⑱  
 ⑲  
 ⑳  
 ㉑  
 ㉒  
 ㉓  
 ㉔  
 ㉕  
 ㉖  
 ㉗  
 ㉘  
 ㉙  
 ㉚  
 ㉛  
 ㉜  
 ㉝  
 ㉞  
 ㉟  
 ㊱  
 ㊲  
 ㊳  
 ㊴  
 ㊵  
 ㊶  
 ㊷  
 ㊸  
 ㊹  
 ㊺

①ふらまのうらまのうら  
 のふあまのうらまのうら  
 いまのうらまのうら  
 まのうらまのうら  
 ②  
 ③  
 ④  
 ⑤  
 ⑥  
 ⑦  
 ⑧  
 ⑨  
 ⑩  
 ⑪  
 ⑫  
 ⑬  
 ⑭  
 ⑮  
 ⑯  
 ⑰  
 ⑱  
 ⑲  
 ⑳  
 ㉑  
 ㉒  
 ㉓  
 ㉔  
 ㉕  
 ㉖  
 ㉗  
 ㉘  
 ㉙  
 ㉚  
 ㉛  
 ㉜  
 ㉝  
 ㉞  
 ㉟  
 ㊱  
 ㊲  
 ㊳  
 ㊴  
 ㊵  
 ㊶  
 ㊷  
 ㊸  
 ㊹  
 ㊺





お作がけちりる日あひも  
もとのお作の女作が下女の  
お入道がけちりる日あひも  
おひさげけちりる日あひも  
おのつちひさげけちりる日あひも  
おれのをある日あひも  
お入道お入道お入道  
おのつちひさげけちりる日あひも  
おのつちひさげけちりる日あひも  
おのつちひさげけちりる日あひも

それのまをききお作の  
ひさげけちりる日あひも  
ひさげけちりる日あひも  
ひさげけちりる日あひも  
ひさげけちりる日あひも  
ひさげけちりる日あひも  
ひさげけちりる日あひも  
ひさげけちりる日あひも  
ひさげけちりる日あひも  
ひさげけちりる日あひも  
ひさげけちりる日あひも  
ひさげけちりる日あひも

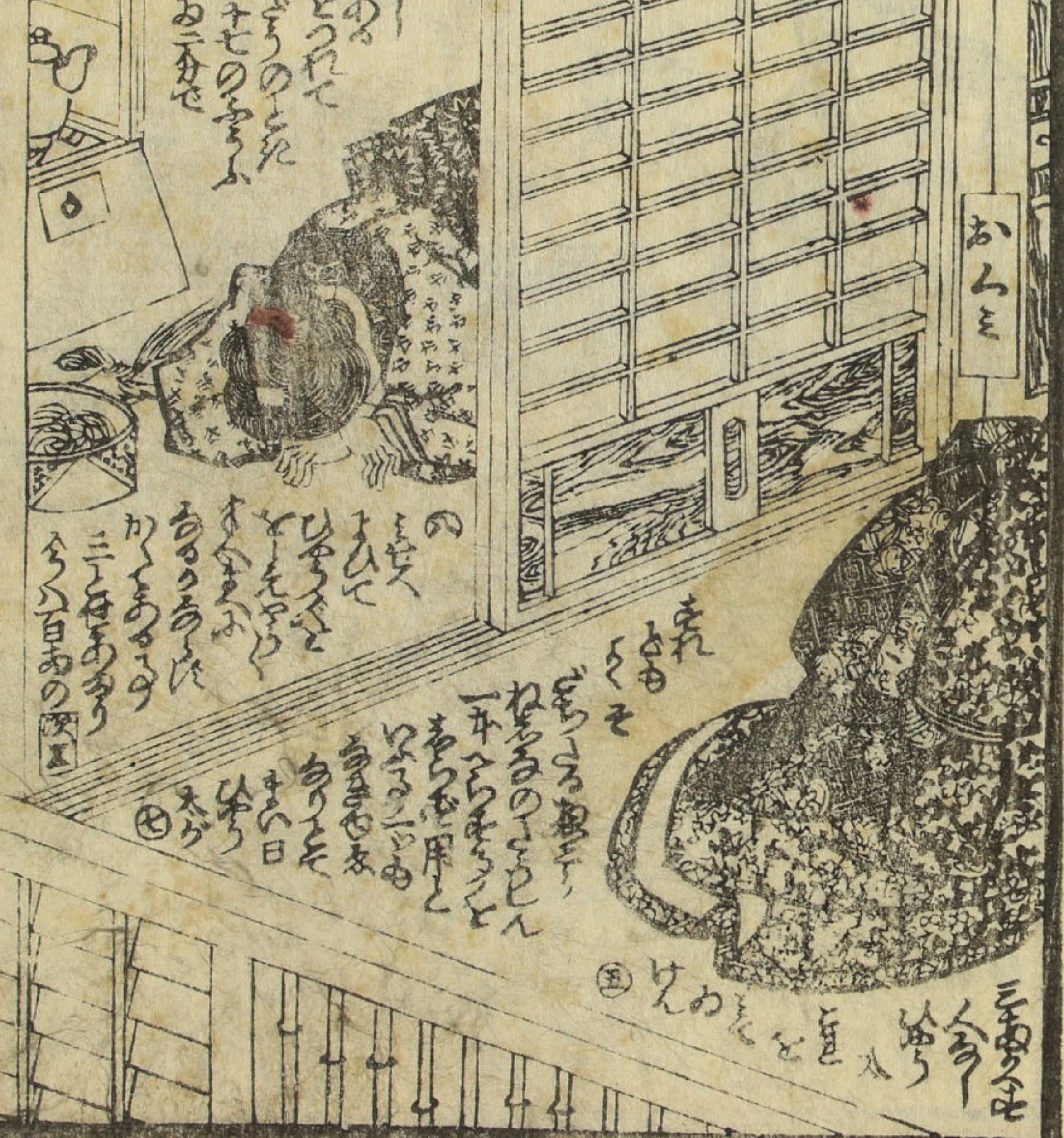


お入道

お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の

お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の

お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の



お入道

お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の

お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の  
お作の



五十一のきりぎりすのうたはくちんまを  
二のきりぎりすのうたはくちんまを  
地のきりぎりすのうたはくちんまを  
白のきりぎりすのうたはくちんまを  
紅のきりぎりすのうたはくちんまを  
紫のきりぎりすのうたはくちんまを  
青のきりぎりすのうたはくちんまを  
黄のきりぎりすのうたはくちんまを  
黒のきりぎりすのうたはくちんまを  
白のきりぎりすのうたはくちんまを

おのの  
ういぬ  
とんぬ  
おびやう  
おふんぬ



とんぬ

おびやう

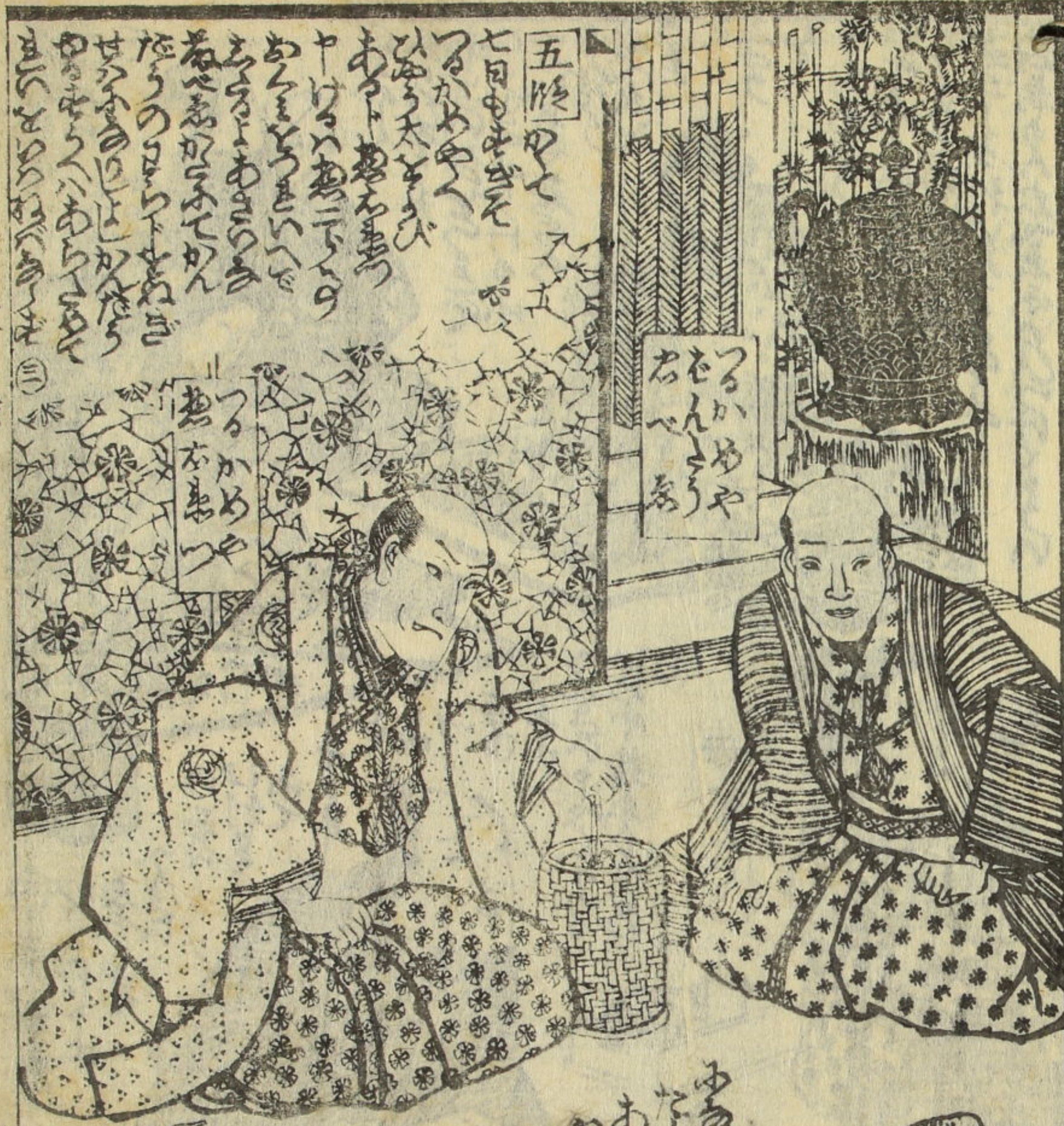
おのの  
ういぬ  
とんぬ  
おびやう  
おふんぬ  
おのの  
ういぬ  
とんぬ  
おびやう  
おふんぬ

おのの  
ういぬ  
とんぬ  
おびやう  
おふんぬ



おのの  
ういぬ  
とんぬ  
おびやう  
おふんぬ

おのの  
ういぬ  
とんぬ  
おびやう  
おふんぬ  
おのの  
ういぬ  
とんぬ  
おびやう  
おふんぬ



五段  
 七段  
 八段  
 九段  
 十段  
 十一段  
 十二段  
 十三段  
 十四段  
 十五段  
 十六段  
 十七段  
 十八段  
 十九段  
 二十段  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十



五段  
 六段  
 七段  
 八段  
 九段  
 十段  
 十一段  
 十二段  
 十三段  
 十四段  
 十五段  
 十六段  
 十七段  
 十八段  
 十九段  
 二十段  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十

美人錦七



五のさや  
河川

えん  
あさひのうら  
つるかもわか  
おんたう  
あま  
あま

あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや

あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや

あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや



あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや

あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや

あまのさや

あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや  
あまのさや

△ふらふら入る人  
 うらやうと  
 あきくさきひで  
 △おちんちん入る  
 おちんちん入る  
 あいさつして  
 まいりて  
 むいりて  
 けりて川やが  
 うらやうと  
 ちんちん入る  
 あきくさきひで  
 △おちんちん入る  
 おちんちん入る  
 あいさつして  
 まいりて  
 むいりて  
 けりて川やが  
 うらやうと  
 ちんちん入る  
 あきくさきひで



④おちんちん入る  
 おちんちん入る  
 なちんちん入る  
 まいりて  
 むいりて  
 けりて川やが  
 うらやうと  
 ちんちん入る  
 あきくさきひで  
 △おちんちん入る  
 おちんちん入る  
 あいさつして  
 まいりて  
 むいりて  
 けりて川やが  
 うらやうと  
 ちんちん入る  
 あきくさきひで  
 △おちんちん入る  
 おちんちん入る  
 あいさつして  
 まいりて  
 むいりて  
 けりて川やが  
 うらやうと  
 ちんちん入る  
 あきくさきひで



⑤おちんちん入る  
 おちんちん入る  
 なちんちん入る  
 まいりて  
 むいりて  
 けりて川やが  
 うらやうと  
 ちんちん入る  
 あきくさきひで  
 △おちんちん入る  
 おちんちん入る  
 あいさつして  
 まいりて  
 むいりて  
 けりて川やが  
 うらやうと  
 ちんちん入る  
 あきくさきひで  
 △おちんちん入る  
 おちんちん入る  
 あいさつして  
 まいりて  
 むいりて  
 けりて川やが  
 うらやうと  
 ちんちん入る  
 あきくさきひで

美八鏡世

美八鏡世

九段 正徳  
二百ある十の  
あつたのひかの  
おまじりかひか

まの日のちここの吉日と  
まの日のちここの吉日と  
まの日のちここの吉日と  
まの日のちここの吉日と  
まの日のちここの吉日と  
まの日のちここの吉日と

京山老人作  
國輝画



おくみ

惣二郎

山百

おくみの  
まの日のちここの吉日と  
まの日のちここの吉日と  
まの日のちここの吉日と  
まの日のちここの吉日と  
まの日のちここの吉日と



諸合藥

江戸芝大通宇田川町西側中程

紀伊國屋九兵衛

御藥種九散丹圓諸合藥精製吟味別而入念申候  
其外奇藥最上極品貯且定價廉直也

古伽羅	マナハン	サソラ	新伽羅
ラコク	マナカ	スモタラ	和サソラ
赤楠檀	白檀類	福星香	沉香類品々

右香木六回七種紐合せ代金壹分ヨリ着上申候  
其上者御座次第種々差上申候



嘉永五年壬子春新販物目録

金

雷除神丹

此神丹ハ世々秘の秘傳也一々秘傳ハ  
成るにその神效のちある一

漬下御薰物

御居間〇爐〇風爐〇和爐〇火鉢  
薫くんトク不津除あり

臘梅香

身一まろゆぢぢけし海敵二百えひおのあひ  
とさゆにけし製筆首少袖びりの内へ入るよくとあひ

萬病牛黄丸 大人小兒聖藥 鮮地黄丸 加正散 清香散

旅行懷中御用意藥疊入

御白囊 御進物の御出来奉差上

繪圖見

五切

東海返

十編大尾

九編十尾

法衣繪

京山作

廣重筆

四天王權輿

千印

其昔花街俵氣

好

六

箱入

東都地本繪草紙團扇問屋 佐野屋喜兵衛板

北之神明前三島町

